**第２学年　道徳科学習プログラム（1 学期）**
じぶんやともだちのよさを見つけて　なかよくたすけあおう！

ねらい　自分や友達のよさや特徴に気づき，友達にやさしく接し，仲良く助け合おうとする態度を養う。

学習過程

| 児童の意識の流れ | 教科・領域等 | 道徳科 | 体験活動，家庭・地域との連携 | 時期 |
|---|---|---|---|---|
| みんなのよいところを見つけて教えてあげたいな。<br>○○さんはやさしいな。○○君はみんなのことを考えて行動しているな。 | **係活動**<br>当番活動や係活動を見直したり，よりよい取り組みを話し合ったりする際によりよい生活への意識を高める。 | **道徳科「本がかりさん　がんばっているね」**<br>C　勤労・公共の精神<br>みんなのために働くことでみんなに喜ばれたり，感謝されたりすることに気づき，みんなのために進んで働こうとする態度を養う。 | **２年生さんがんばっているね**<br>学級通信を通じて，学習内容や児童の発言，ワークシートの内容などを保護者にも伝え，家庭での手伝いなど，働くことの大切さなどについて話題にしてもらうようにする。 | 5月・6月 |
| 友達と助け合ってこれからも仲良くよいクラスにしていこう。<br>誰にでも優しく，仲良く助け合えるクラスになるとうれしいな。 | **帰りの会**<br>「キラキラさんしょうかい」で友だちのよいところについて発表することで自己肯定感を高め，クラスのことを考えて行動しようとする心情を育てる。 | **道徳科「ありがとうっていわれたよ」**<br>B　親切　思いやり<br>身近にいる人に親切にしたことで「ありがとう」と言ってもらった「ぼく」の気持ちと，「ありがとう」と言ったそれぞれの気持ちを考えることを通して，人に親切にすると相手も自分もいい気持ちになることに気付き，身近にいる人に温かい心で接し，親切にしようとする態度を養う。 | **いいところみつけ**<br>日常の学校生活の中で把握した児童の親切な行為をその都度褒めるとともに，帰りの会などで他の児童にも紹介するようにする。また，それらの行為について学級通信等で家庭にも伝え，親切について話題にしてもらうようにする。 | |

自分や友だちのよいところを見つけ，誰にでも優しく，
仲良く助け合えるクラスにしよう。